

# 令和4年度学校評価アンケートまとめ

柏市立松葉第一小学校

学校教育目標	「自分で考え、判断し、行動する児童の育成」 —社会に貢献できる自立した人間となるために 自治・自主・自律—
重点目標	(1)松一スタンダードの活用 (2)学ぶ主体は子ども (3)安全で安心な学校

## 1 アンケート項目及び結果について

児童・保護者・教職員に対して実施した質問項目とその結果は別紙のとおりです。関連する質問項目ごとに整理し、肯定的な回答について比較をしています。

## 2 重点目標に関する状況について

### (1) 松一スタンダードの活用について

基本的な生活習慣及び学習ルールを共通認識し徹底するための手引きとして、「松一スタンダード」を活用して指導にあたってきました。疑義や新たな問題が生じた場合には、生徒指導部会を中心に都度共通理解を図ってきました。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「7友達と仲よくできているか」では、児童96%保護者93%職員100%であり、良好な友人関係を構築している児童が非常に多い状況があります。

「5学校のきまりを守って生活しているか」の設問でも、児童94%保護者94%職員93%であり、秩序ある学校生活ができていると考えられます。

一方で、「29悩み事や相談を聞いてくれるか(対応しているか)」では、児童80%保護者85%職員95%であり、児童と職員の状況に差があります。

今後は、これまで以上に児童の様子を見取り、一人一人に丁寧に対応していくことが必要であると考えます。

### (2) 学ぶ主体は子どもについて

一人一人の児童に応じたきめ細かな指導のために、県職員だけでなく、市職員(低学年支援教員・教育支援員・理科教育支援員・外国語活動支援員・ALT・図書館指導員)と連携して指導にあたってきました。また、教師自身の授業力向上を目的として、全職員が参加し、「算数科におけるわかるできる喜びを感じられる対話的学習をとおして」をテーマに校内研修にも取り組んできました。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「9よく考えて学習できているか」では、児童89%保護者74%職員95%であり、多くの児童が意欲的に学習に取り組んでいる姿があります。また、「15工夫してわかりやすく学習を教えているか」では、児童94%保護者77%職員90%であり、研修を生かして指導方法の工夫改善が進んできていることがわかります。

しかしながら、いずれの設問でも保護者の肯定的評価が低い傾向があります。校内での学習の様子が十分に伝わっていないことが一因とも考えられます。

今後は、授業参観の制限見直しによる積極的な公開や、家庭と連携した学習活動の実施が必要であると考えます。

### (3) 安全で安心な学校について

日々の校内巡回や毎月の安全点検により施設等の安全を確認し、速やかな修繕改修を進めてきました。また、登下校の安全確保は喫緊の課題として、日常的な指導はもちろんのこと、問題が発生した場合には、学級指導や登下校指導を行ってきました。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「22 生活や学習の場として教育環境を整備しているか」では、保護者 84%職員 98%(児童調査なし)であり、施設修繕等を進めてきましたが、それが保護者に伝わるまでの変化につながっていない状況があります。「24 交通安全・病気・怪我に気をつけて生活できているか」では、児童 91%保護者 91%職員 98%でした。「31 新型コロナウイルス感染症への対応を適切に進めているか」では、保護者 84%職員 100%(児童調査なし)であり、日常的な安全指導や保健指導等を重ねてきた成果が見られてきています。

今後は、引き続き安全・安心な環境のもと、心身ともに健康な生活ができるよう取組を継続していくことが必要であると考えます。

### 3 保護者からの「よりよい学校にするための提案」について

主な提案内容は以下のとおりでした。御意見をもとに、次年度の教育課程や教職員の指導改善につなげ、より充実した教育活動が展開できるよう検討していきます。

- 学校行事の制限解除
- 学校行事の公開
- デジタル配信等の連絡方法
- 健康教育・安全教育の充実
- 児童の意欲を高める指導
- 教職員の指導力向上
- タブレット端末の利用方法
- 学習用品の指定

### 4 次年度に向けた改善について

- (1) 職員の共通理解・共通実践により、「全職員が全児童の担任」という意識で教育活動を進めるための体制づくりを行います。
- (2) 校内研修及び市主催研修等の積極的な活用により、教職員の基礎的な指導力の向上を図ります。
- (3) 学校生活全体をとおして、児童が主体的に考え、対話による問題解決ができる機会を設けます。
- (4) 学校ホームページや学校だより、すくすくメール、スクリレ(文書配信アプリ)の活用により、保護者に対して確実な連絡と活動公開を進めます。
- (5) 感染症対策としての制限見直しや再開により、学校行事をとおして保護者や地域に教育活動の公開を進め、関係性の再構築をします。
- (6) PTA・地域ボランティアの協力、柏警察の協力により、登下校の安全確保と交通事故防止を図ります。
- (7) 松葉地区 3 校(松葉一小・松葉二小・松葉中)コミュニティ・スクールの活動をもとに、地域との連携を強化し、協働的な取組をさらに進めます。